

看護学研究科の理念

福島県立医科大学大学院看護学研究科は…

看護の実践・研究・教育の場で活躍できる高度な専門知識、技術、実践能力を有する人材の育成を行い、看護学の創造と発展に貢献することを目的としています。

～教育目標～

- 1 高度な専門知識・技術と卓越した実践能力を持つ看護専門職者を育成する。
- 2 看護援助方法論の開発と研究を担う人材を育成する。
- 3 看護職のキャリア開発プログラムを構築できる人材を育成する。

ディプロマポリシー

修士課程において、所定の期間在学し、修了要件となる単位を取得するとともに、学位論文審査および最終試験に合格し、下記の条件を満たす者に学位(修士(看護学))を授与します。

- 専門分野における専門的知識、技術を修得している
- 看護学の学問の発展に寄与する実践・研究・教育に取り組むための基礎的能力を修得している
- 高い倫理観を有した専門職者として専門分野の課題を探究できる能力を有している
- 看護実践・研究・教育の場において地域に貢献できる能力を修得している

カリキュラムポリシー

修士課程では、専門分野の高度な実践者、看護学研究科、看護学教育者を育成します。

- 専門性の高い看護職の基盤となる理論・知識が修得できる
- 専門領域における高度な知識と実践能力が修得できる
- 専門領域と関連する内容を学び、社会の要請に応え学問的成果をあげる能力を修得できる

研究コースとCNSコースを設け、それぞれの目的に応じた科目を編成しています。カリキュラムは、両コースの基盤となる「共通必修科目」、各領域の専門的知識・技術を修得するための「看護専門科目」、幅広い学識を深めるための「共通選択専門科目」ならびに「研究指導科目」の構成としています。「研究指導科目」は、研究成果を論理的にまとめる能力を修得するために、研究コースの学生は「看護特別研究」、CNSコースの学生は「看護課題研究」に取り組みます。

アドミッションポリシー

本大学院看護学研究科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、専門性の高い看護学の修得を志向し、熱意を持って主体的に学んでいこうとする人を求めています。

求める学生像

- 看護学に関する専門的知識と技術を修得し、その発展に寄与する人
- 専門看護師として高度な知識と卓越した実践能力を修得しようとする人
- 保健・医療・福祉領域で多様な人と協働して地域貢献に尽力しようとする人

入学者選抜の基本指針

求める学生像に沿った人材を選抜するために入学試験を実施します。試験は、筆記試験(看護学共通、専門領域、英語)、口述試験、面接および出願書類等により総合判定します。

本研究科の特色

看護援助方法の開発と研究を担う専門職のための「研究コース」と、高度な専門知識・技術と卓越した実践能力をもつ看護専門職(専門看護師)を育成する「CNSコース」を開講しています。

研究コース

- がん看護学領域
- 成人看護学領域
- 家族看護学領域
- 老年看護学領域
- 精神看護学領域
- 母性看護学領域
- 小児看護学領域
- 地域看護学領域

CNSコース

- がん看護専門看護師
- 精神看護専門看護師
- 小児看護専門看護師

※「家族看護学領域」は、令和4年度は募集いたしません。

今年度の認定申請・出願期間

秋期選抜試験

令和3年10月23日(土)

- 出願資格認定申請期間
令和3年 9月 3日(金)～ 9月10日(金)
- 出願期間
令和3年 9月28日(火)～10月 5日(火)

冬期選抜試験

令和4年1月29日(土)

- 出願資格認定申請期間
令和3年11月26日(金)～12月 3日(金)
 - 出願期間
令和4年 1月 4日(火)～ 1月11日(火)
- ※秋期選抜試験において定員を満たした場合は、冬期選抜試験は実施しないので、出願前に電話等で確認してください。

交通案内

JR福島駅東口バスターミナル福島交通バス「バイパス経由医大」行き乗車、「医科大学前」下車徒歩1分。(所要時間約30分)



お問い合わせ

福島県立医科大学

〒960-1295 福島県福島市光ヶ丘1番地 福島県立医科大学
 事務局 教育研修支援課看護学部教務係(大学院看護学研究科担当)
 Tel:024-547-1806(直通) Fax:024-547-1989
 E-mail:kyoumu2@fmu.ac.jp
<https://www.fmu.ac.jp/>

2022年度(令和4年度) 学生募集案内

福島県立医科大学大学院 看護学研究科



……看護学研究科での募集人員……

課程名
修士課程

専攻名
看護学専攻

募集人員
10人



教育課程の構造

研究コース

CNSコース

……共通必修科目……

看護理論

看護研究

看護倫理

看護研究方法論

……看護専門科目……

がん看護学

成人看護学

家族看護学

老年看護学

精神看護学

母性看護学

小児看護学

地域看護学

……共通選択専門科目……

●フィジカルアセスメント

●看護マネジメント論

●病態生理学

●ストレスと心身症

●臨床薬理学

●看護と法

●健康情報学

●看護政策論

●看護教育論

●家族面接論

●コンサルテーションの理論と実際

●現代家族論

●リハビリテーション看護論

……研究指導科目……

看護特別研究

看護課題研究

※開講科目は変更になる場合があります。

看護学研究科専門領域の紹介

がん看護学

がんと診断された時から終末期まで、さまざまな場所で療養しているがん体験者とその家族が抱える健康問題を解決するための効果的な看護援助方法論を開発する。

成人看護学

疾患や外傷などにより生体侵襲を受けた人やその家族の発達課題・生活過程を踏まえ、さまざまな健康レベルや病期に応じた看護援助方法を開発する。

家族看護学

家族を援助の対象とし、家族の健康を増進する高度な専門的看護介入方法を開発する。

※令和4年度は募集いたしません。

老年看護学

老年期にある人が、治療および療養の場でその人らしく生活することを支援する看護援助方法を開発する。

精神看護学

精神の健康問題を持つ人が、自立したその人らしい生活を確立していくために必要な看護援助方法を開発する。

母性看護学

マタニティサイクルにある女性とその家族、およびライフサイクル全般に関わる女性の健康を支援するための看護援助方法を開発する。

小児看護学

育児期にある家族の健康生活を支援するための援助方法および健康問題を持つ子どもとその家族のQOLの向上に必要な看護援助方法を開発する。

地域看護学

様々な健康水準の個人や集団を対象として、行政・企業・訪問看護等における健康課題に応じた看護ケアシステムおよび看護援助方法を開発する。

～近年の学位論文～

- ・生物学的製剤を使用している女性関節リウマチ患者の就労継続に影響する要因(がん看護学)
- ・ICU看護師の看護実践卓越性に影響する要因(老年看護学)
- ・重度の統合失調症患者の地域生活維持に向けた訪問看護師の支援(精神看護学)
- ・避難指示が解除された地域に暮らす高齢者が肯定的感情を抱く日常生活での経験(地域看護学(在宅))

- ・母親が自覚する母乳育児継続の力(母性看護学)
- ・生殖補助医療を受ける女性に携わる助産師の体験(母性看護学)
- ・医療的ケアに関わる保育所看護職の役割(小児看護学)

修士課程での学習・研究活動の流れ



修士号学位授与

研究職
(大学・研究所)

看護専門職者の
スキルアップ

専門看護師

長期履修制度について

研究コースでは「働きながら」「育児・介護をしながら」の修学を可能にするため、2年分の授業料で3年間かけて学ぶことができる制度を採用しています。

現在、多くの大学院生がこの制度を利用しています。

※CNSコースは対象になりません。

研究生・科目等履修生について

本学では、年2回(4月入学・10月入学)研究生及び科目等履修生の募集を行っています。